

Gender Equality

今とこれからを輝いて生きる

新しいリーダーシップの時代へ—女性登用を自治会の成長につなげる—

市は、地域活動における男女共同参画を推進していますが、PTAや地域の活動に参加する女性は多いものの、組織の意思決定を行う役員などの責任ある立場には女性の参画が少なく、現在、市の地域活動におけるリーダー的存在「区長」に女性が占める割合はわずか1.6%(62人中1人)で、副区長や役員は15~20%となっています。

この状況を打開するためには、どんなアクションが求められるのでしょうか。現在、区長として活躍する美鈴の学区の松野美雪さんのお話の中からそのヒントを探ります。



美鈴の学区長 松野美雪さん

2020年から自治会役員、2023年から区長として自治会活動に携わる。地域のボランティア活動に20年以上参加し、その経験が自治会活動にも活かされている。

松野区長の取組とやりがい

区長として取り組んだことは「住民同士のつながりの創出」です。

まず、住民に自治会の活動内容を知ってもらうため、回覧板を市の広報紙と同じ回数作るようにしました。また、自治会の大きなイベントでは、今までなかった「防災・防犯訓練」と「秋祭り」を新しく始めました。イベントには、それ自体に取り組む意味や楽しみがありますが、イベントを通して地域の中の顔見知りや会話が増えることで、コミュニケーションが高まってほしいという思いもあります。

その効果で、今まではお互いに顔も知らなかった若い世代と高齢の世代がいさつや会話を交わすようになったり、「仕事頑張っているね」と声をかけられてうれしかったという話を聞いたりします。そうやって人と人とのつながりが増えたことで、草刈りなどの行事に参加する住民が自然に増え、子どもたちも参加してくれるようになりました。そして、多くの住民が参加してくれるおかげで、時間がかかるとも草刈り作業も30分程度でとてもきれいになります。

このような地域のイベントや行事、日常の中で、住民の皆さんの笑顔を見られたり「うれしかった」「楽しかった」という言葉を聞いたりすることが、私の区長としてのやりがいになっています。

自治会の役員会活動を改善

休日に活動や会議をすると、貴重な休日の時間を奪ってしまうことになるので、2回の活動を1回にまとめたり、会議の回数や時間を減らしたりしています。また、役員会の資料は必ず事前に役員へメールし「次の役員会で意見を聞きます」と書いておくと、皆さん資料は頭に入っているし、意見を持って参加するので、会議がスムーズに進み、30~40分で終わることができます。

役員の方々の負担を軽減し、気持ちよく前向きに活動してもらうにはどうしたらいいかを常に考えています。





「誰でも参画できる自治会」をめざして

何かを変えようとする、さまざまな意見をいただけます。その時はできるだけ、現役で頑張っている自治会役員さんの意見を大切にすることが大切です。

私の退任後も自治会は続いていくので、現役世代のいろいろな意見を取り入れて、今までのやり方から改めるべきところは改め、次の区長へスムーズにバトンを渡したいと思っています。誰でも参画できる自治会にしたいと思っています。継続は難しいですからね。



性別や年齢に関係なく意見を出し合う

女性区長が増えると、女性の役員も増え、女性住民の声や多様な意見が集まると思っています。今、美鈴の行政区の役員は、幅広い年齢の13人で構成されており、そのうち6人が女性です。さまざまな人が意見を出し合うことで、多様な価値観の意見が集まり、活動が活発になります。



ただ、役員会に限らずイベントでも言えますが、どんな人がいて、何をしているかも分からないところに参加するのは不安だと思います。そうならないように、回覧板などで自治会がどういう活動をしているか、写真も載せて詳しくお知らせしてきました。そういった取組の結果、今の美鈴の行政区は、住民が性別や年齢に関係なく、多くの人が行事やイベントに参加し、みんなで作り上げる自治会になっていると思います。

次の世代へ「大変そう」を「楽しそう」に

「自治会活動や役員会ってすごく大変そうだな」と考えて身構える人もいると思います。だからこそ、これから自治会を引き継ぐ次の世代には、何事に対しても気負わなくていいと伝えたいです。やはり自治会活動の基本は「できる時に、できる人が、できる事をする」なので、無理はしなくていいと私は思っています。

そのために、私たちも含め、参加者が楽しく活動できるように、見直しや改善を続けていきたいです。この部分は私たちの課題ですが、誰でも楽しく参画できるように形にして、次に引き継げるようこれからも取り組んでいきます。

女性登用と多様性は、自治会の成長に欠かせない要素

美鈴の行政区が松野さんを区長に選んだ理由は、「性別に縛られず、能力的に適した人を選んだ結果」だといいます。それに加え、松野区長が率先して多様な人材を生かし、その能力を最大限に引き出した事は、自治会に変化と成長をもたらしています。

今後、他の自治会でも、女性登用・活躍推進が自治会の新たな力を生み出す原動力になっていくのではないのでしょうか。そのために、まずは性別を問わず、全ての人が活動しやすい環境を整えることが必要です。